

気候変動講演会2017

～弱者から考える地球温暖化～

入場
無料

日時：平成29年12月2日（土）

開場13:00 開演13:30 終了15:30

会場：ドーンセンター パフォーマンススペース（大阪市中央区）

定員：150名（先着順）

講演：【これまでの観測事実と将来予測】

大阪管区気象台 地球環境海洋課 課長 高橋 宙

【変動する気候、激甚化する気象】

～高齢化社会で「情報」をどう活かすか～

気象予報士 防災士

片平 敦

【野生生物から見た地球温暖化】

～生物多様性保全の観点から～

大阪府立大学 副学長

石井 実



会場：

〒540-0008 大阪市中央区
大手前1丁目3番49号
ドーンセンター

電車でお越しの方へ

京阪「天満橋」駅、地下鉄谷町
線「天満橋」駅1番出入口から
東へ約350m

JR東西線「大阪城北詰」駅下車
2番出口より土佐堀通り
沿いに西へ約550m

主催：大阪管区気象台・近畿地方環境事務所

後援：近畿経済産業局(予定)・地球ウォッチャーズ - 気象友の会 -

講演概要

これまでの観測事実と将来予測



大阪管区気象台 地球環境海洋課 課長 高橋 宙

気象庁が長きにわたって監視している近畿地方の気候。この変化の事実とあわせ、複数の将来予測をながめながら、悪影響に対する「緩和」と「適応」の必要性について説明します。

変動する気候、激甚化する気象

～高齢化社会で「情報」をどう活かすか～ 気象予報士 防災士 片平 敦



地球温暖化が進むと、気温・降水など天気には大きな影響が出ると予想される。そこで、大雨・猛暑など激甚化する気象について、防災・減災に情報をどう活かしたらよいのか、なかでも高齢化社会において「災害時要援護者」や支援者は、どのように先手を打った行動を取っていけばよいのかを、気象報道の現場にいる立場からのお話をします。

野生生物から見た地球温暖化

～生物多様性保全の観点から～ 大阪府立大学 副学長 石井 実



気候温暖化は、南方系の生物には分布の拡大など比較的有利にはたらくが、その一方で、サンゴ礁の白化や高山植物などの北方系・温帯系の生物の衰退が認められ、生物多様性の危機要因のひとつになっています。私の専門のチョウなどの昆虫の事例を中心に解説します。

申込方法：「メール」または「FAX」 11/24（金）締め切り

- ・メール：送信先：os_chikai@met.kishou.go.jp
代表者氏名（ふりがな） メールアドレスかFAX番号 参加希望者数
- ・FAX送付先：06-6949-6160
切り取らずにそのまま上記番号へFAXで送信してください。
- ・問合せ先：大阪管区気象台地球環境・海洋課 06-6949-6329
(土・日・祝日を除く09時～17時まで)



申込代表者氏名

申込代表者連絡先

参加希望者

ふりがな

FAX:
メール:

名